

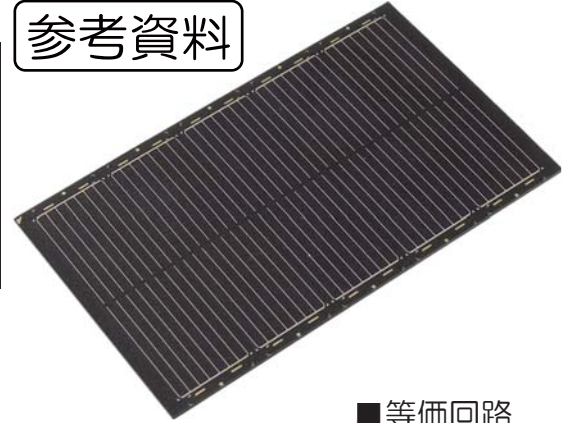
携帯機器用ソーラーモジュール 300mW

■絶対最大定格

項目	記号	単位	絶対最大定格値
保存温度	Tstg	°C	-30~+85
動作温度	Tj	°C	-20~+70
逆耐圧	Vr	V	-1.4
流入電流	Iin	mA	100

(注) この仕様書でいう絶対最大定格とは、瞬時たりとも超過してはならない限界値です。また、絶対最大定格内の使用であっても、出荷時のモジュールの性能をそのまま維持するための環境条件又は動作条件の限界値ではなく、モジュールが動作しなくなる等の致命的な故障に至らないための主要な環境条件、又は動作条件の限界値です。

参考資料



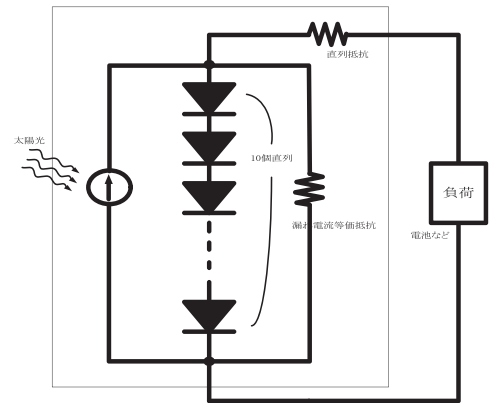
■出力特性

特性項目	記号	公称値	最小値	最大値	単位
開放電圧	Voc	5.7	5.2	—	V
短絡電流	Isc	75	62	—	mA
最大出力時動作電圧	Vpm	4.5	3.8	—	V
最大出力時動作電流	Ipm	65	48	—	mA
最大出力	Pm	300	240	—	mW
逆リーク電流 (-4.2V時)	Ir	0.15	—	4	mA

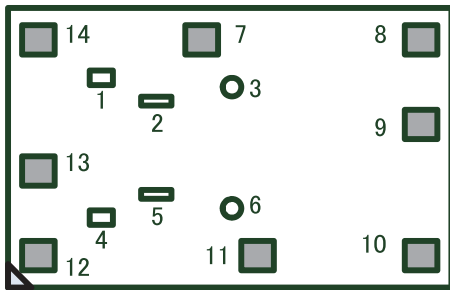
標準状態

- ・モジュール温度 : 25°C ± 3°C
- ・分光分布 : JIS C 8911 で規定する AM1.5 全天日射基準太陽光
- ・放射照度 : 1000 ± 50 W/m²

■等価回路



■端子配置 (モジュール裏面)



モジュール裏面 端子配置図

index

(注) この図はイメージ図であり、寸法図ではありません。

実装条件について

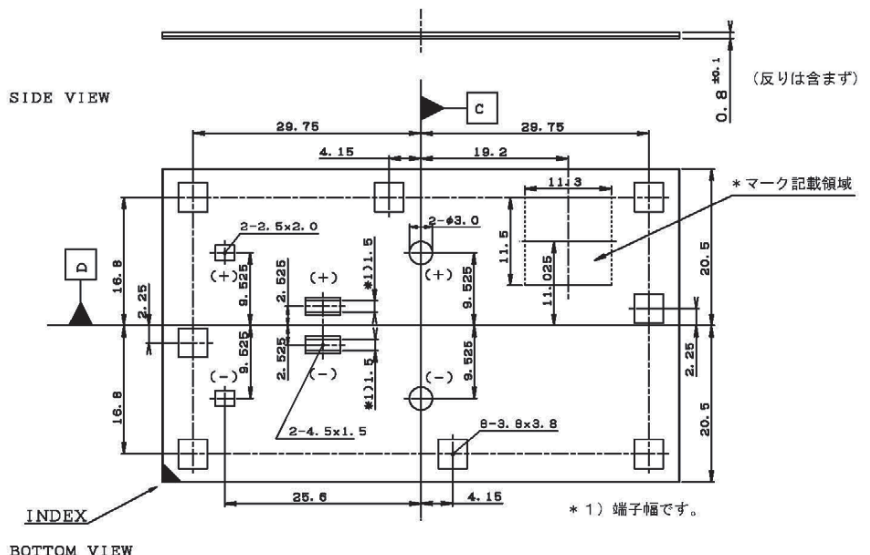
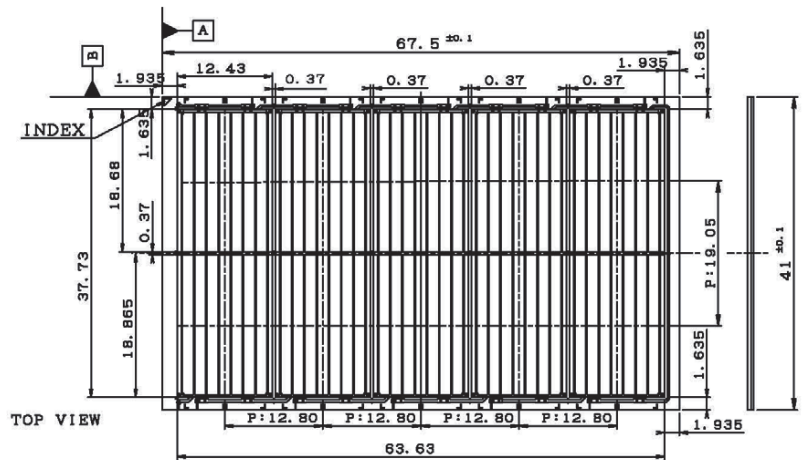
- 品質を確保する為下記条件以下で処理してください。
手ハンタ付け条件 (下記条件でのハンタ付け実装処理は、1回処理を原則とします。)
- ・温度、時間: 300°C以下、2秒以内 / Pin
 - ・温度測定箇所: コテ先 (ハンタこて)

Pin No	Pin name	Description	Note
1	OUTPUTA	+端子	
2	OUTPUTB	+端子	
3	テスト用端子	+端子	
4	OUTPUTC	-端子	
5	OUTPUTD	-端子	
6	テスト用端子	-端子	
7 ~ 14	接地端子	EMIノイズ対策用端子	1)

(注1)

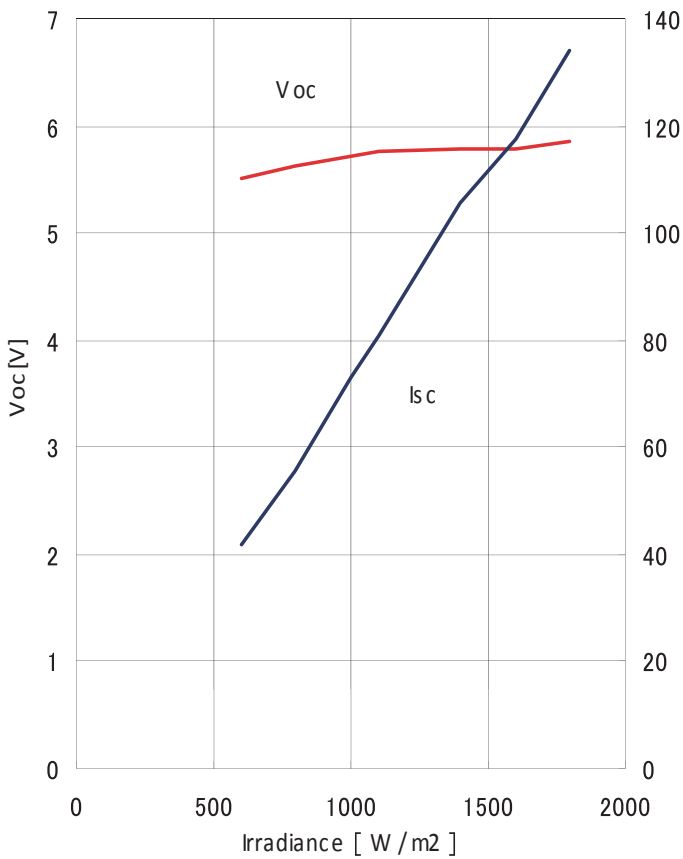
周辺の四角形の端子7~14はモジュールの接地部であり、1~6とは内部で接続されていません。一般的なEMIノイズ対策の為に基板内にGNDメタルパターンが張り巡らされており、ノイズ対策の為に端子7~14全てをGND (ただし、4~6に示す-端子とは異なる) に接続することを推奨します。尚、モジュール自体がノイズを放射しているわけではなく、本端子をGNDに接続しない場合でも、電気的特性への影響はありません。

パッケージサイズ[※] : 67.5 × 41.0



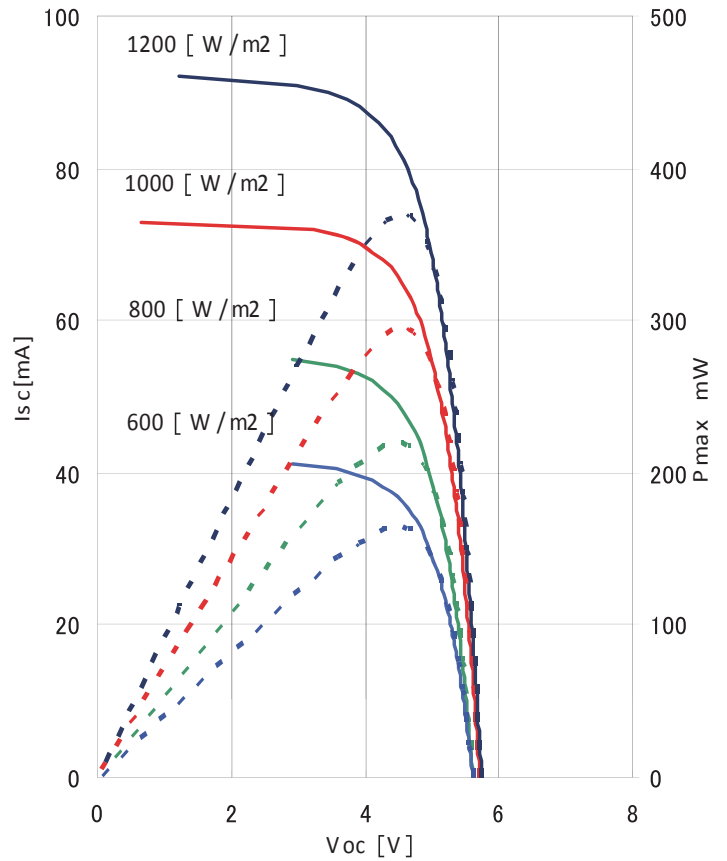
反りによる影響を抑えるために、モジュール全面を固定することを推奨いたします。

■放射照度特性（代表特性例）



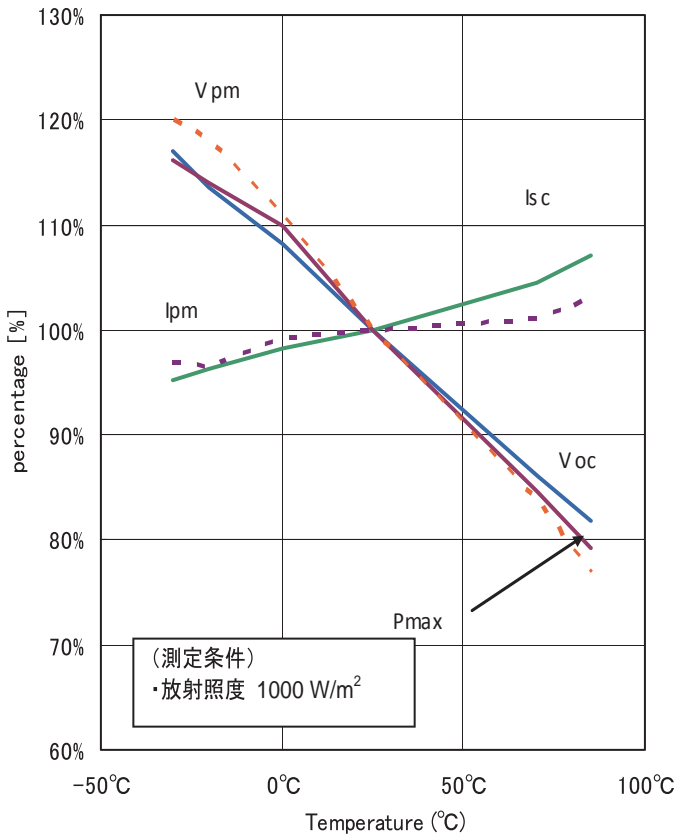
Open circuit voltage, Short circuit current vs. Irradiance Characteristics

参考資料



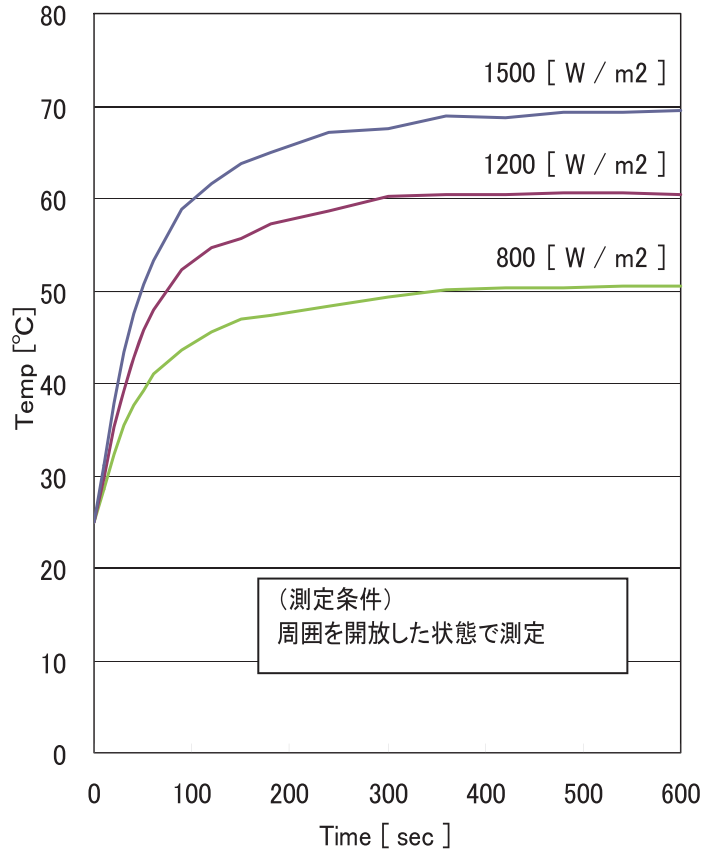
Current, Power - Voltage Characteristics

■温度特性（代表特性例）



Normalized $I_{sc} \cdot V_{oc} \cdot P_{max} \cdot I_{pm} \cdot V_{pm}$ Temperature characteristics

■短絡時の温度上昇特性（代表特性例）



(測定条件)
周囲を開放した状態で測定

Temperature rise characteristic at short-circuit